

※文字の大きさは Meiryu UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

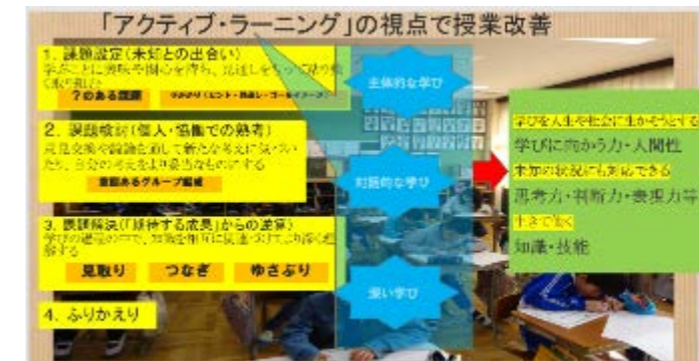
※事務局記入欄

【様式2】

No. D-32

部門名： 校内研修プログラム開発・実践部門	エントリー名： 愛荘町愛知川小学校 相田直紀 (平成30年度第6回中堅教員研修)
活動名： 研修成果による授業改善～実践と接続を意識した研修会の実施～	
解決すべき課題： アクティブ・ラーニングの視点による授業改善の必要性はよく耳にするが、勤務校において、その視点を共通理解したことはなかった。校内研究では、校内で決定した主題に沿って、個人の考えや経験に基づいた授業づくりや授業改善への意見交流をすることが日常であった。 今回の研修の中で一番印象に残ったのは、国学院大学、田村教授によるアクティブ・ラーニングの講義だ。主体的で対話的で深い学びのある授業にするためのポイントを学んだことは大きな成果となった。そこで、この成果を生かし、アクティブ・ラーニングによる授業改善の視点を校内で共有することで、職員全員が同じ土俵の上で、授業改善の方向性を議論できるようにしたいと考えた。	
目標・方針： 目標は、アクティブ・ラーニングの視点を共有することにより、校内研究の際、職員全員が同じ視点で議論し、質の高い授業改善を行うことにある。そのために2つの方針を立てた。 まず1つ目は、アクティブ・ラーニングの有用性を勤務校の職員に実感してもらうために、研修成果を理論だけでなく、実際の授業の中で実践として職員に伝えること。 2つ目は、研修中に何度も視聴し、その分かりやすさに感銘を受けた教職員支援機構 HP 内にあるオンライン動画と職員とをつなげることで、この2点を方針とし、研修会を実施することにした。	
活動内容： まず、研修で学んだ理論をまとめるとともに、それに基づき、アクティブ・ラーニングの視点で授業づくりや授業改善を実践した。研修会は、放課後に行うことを鑑み、職員が負担感なく気軽に参加できるように、30分で終わるように設定した。内容は、理論編、実践編の後、教職員支援機構 HP 内のオンライン動画を一部分紹介し、研修会後、参加した職員をその動画に呼び込むことで、参加者の意識と理解を高めることとした。また、研修成果をより多くの教職員に広めるために、研修会には勤務校だけでなく、愛荘町内の学校すべてに参加を呼び掛けた。	
活動の成果： 研修会は、2回実施した。町内4つの小学校からのべ、51人の教職員が参加。参加者のアンケート結果(グラフ1)から、アクティブ・ラーニングの視点について、一定の理解を得た。また、研修会後、研修の中で紹介した思考ツールを積極的に使う学級も複数現れ、思考を見える化しながら深い学びへと導く実践が数多く生まれた。また、それを検証するために、校内研究会では、アクティブ・ラーニングの視点から授業改善に関する意見を議論し合えるようになった。その反面、研修後に教職員支援機構のオンライン動画を視聴した割合は低い結果となった(グラフ2)。研修会を30分に設定したため、今回は、オンライン動画に呼び込む形をとったが、ある程度研修時間を確保できるなら、オンライン動画自体、20分で視聴できるため、研修会ですべてを見せるのも有効であると考えた。しかし、視聴した参加者に話を聞くと、研修会の事後に視聴したことにより、より深くアクティブ・ラーニングの視点が理解できたという感想を聞くことができた。今年度は、初任者研修や校内 OJT 研修の講師として、学んだことを多くの教職員に発信している。	
アピールポイント(アイディアや工夫)： ・働き方改革を意識し、研修会を30分で終わることできるようにコンパクト化 ・コンパクト化した中でも、アクティブ・ラーニングの有用性が実感できるように、理論だけでなく、実践も交えた資料の作成 ・研修の中でエッセンスを伝え、教職員支援機構 HP 内のオンライン動画の視聴に呼び込む研修会の仕掛け	

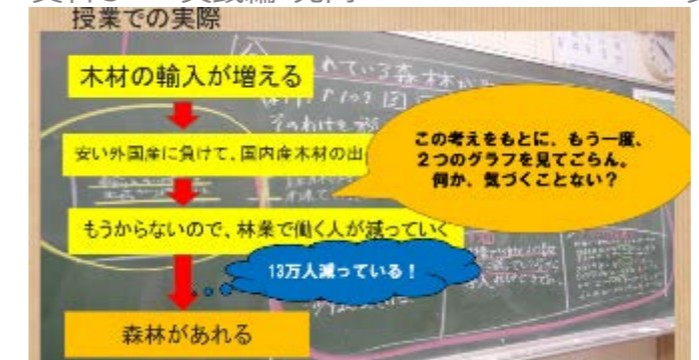
資料1 ～理論編～
 「アクティブ・ラーニング」の視点で授業改善



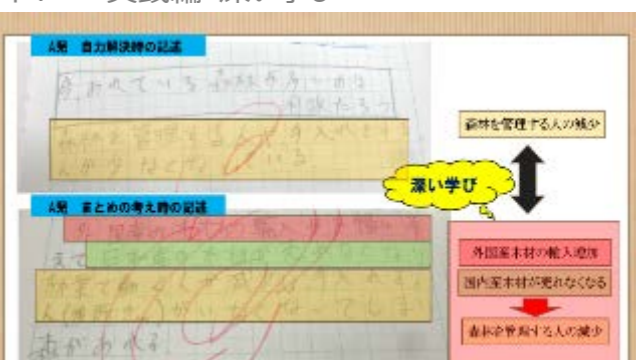
資料2 ～実践編・対話～
 授業での実際 ～対話的な学び～



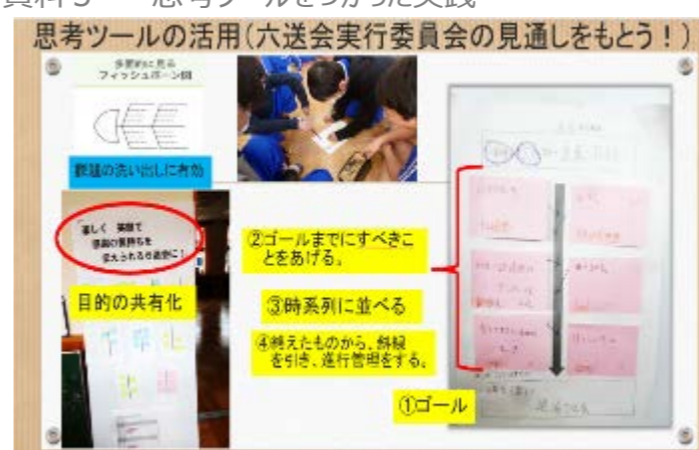
資料3 ～実践編・発問～
 授業での実際




資料4 ～実践編・深い学び～



資料5 ～思考ツールをつかった実践～
 思考ツールの活用(六代会実行委員会の見通しをもとう！)



資料6 ～オンライン動画へ導くページ～
 「深い学び」についての資料



グラフ1 参加者の理解度



グラフ2 オンライン動画の視聴割合

